

デジタル化資料の 公開にかかわる 権利処理を学ぶ

— 基礎知識から実践まで —

日時

平成27年12月3日（木）

13:30-17:00（受付開始 13:00）

会場

京都大学附属図書館 3階

ライブラリホール

<MAP> http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r_y/



対象

大学図書館職員および

本講演テーマに関心のある方（受講無料）

申込

下記のイベントページ内のフォームよりお申し込みください（締切 11月19日）

<URL> <http://www2.kulib.kyoto-u.ac.jp/kenshu/?p=3899>



講演

資料デジタル化に伴う
権利処理

13:35-14:50

国立国会図書館関西館

電子図書館課 著作権処理係

（国立国会図書館講師派遣型研修）

事例報告

京都大学研究資源
アーカイブにおける
著作権処理の事例

15:10-15:55

京都大学総合博物館

五島敏芳 講師

情報提供

クリエイティブ・コモンズの
しくみと活用事例について

15:55-16:40

特定非営利活動法人

クリエイティブ・コモンズ・ジャパン常務理事

渡辺智暁 氏



講師紹介

五島 敏芳 (ごとう はるよし) 氏

京都大学総合博物館 講師 (京都大学研究資源アーカイブ デジタルコレクションアーキビスト)

【研究分野】 文書館学、アーカイブズ情報学

【略歴】 国文学研究資料館史料館 (国立史料館) 助手、人間文化研究機構国文学研究資料館助教を経て、2008年より現職。

2007年～2010年 国立公文書館公文書専門職員養成課程 講義「公文書の管理とシステム化」担当講師

2009年 国立公文書館デジタルアーカイブ・システムの設計・開発等提案に係る技術審査委員会 委員ほか

旧国文学研究資料館史料館員として文書館実務に携わり、同館情報検索システムをアーカイブ資料の

メタデータ標準にもとづき構築。日本におけるアーカイブ資料総合目録を構想する中で自然科学系研究

機関等のアーカイブ資料管理にも関与し、研究資料をアーカイブ資料として保存する実践・研究にいたる。

【著書等】 『史料館所蔵史料目録 第78集・信濃国佐久郡御馬寄村町田家文書目録』

(編著、国文学研究資料館史料館)

「EADの概要と日本における動向：国文学研究資料館の事例紹介を中心に」『アーカイブズ情報の共有化に向けて』

所収 (共著、岩田書院)

渡辺 智暁 (わたなべ ともあき) 氏

特定非営利活動法人コモンズフィア常務理事



講師紹介

【研究分野】 図書館情報学・人文社会情報学, 新領域法学, 公共政策

【研究テーマ】 オープン化、経済原理と社会規範の交錯領域、情報通信政策、情報社会論

【略歴】 インディアナ大学ブルーミントン校 修士 (MA, テレコミュニケーション) (2000年)

インディアナ大学ブルーミントン校 博士 (Ph.D., マスコミュニケーション) (2009年)

国際大学 グローバル・コミュニケーション・センター 主幹研究員/准教授/研究部長などを経て、2015年6月より

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任准教授。

2013年より特定非営利活動法人 コモンズフィア 常務理事。

2013年11月より一般社団法人オープン・ナレッジ・ファウンデーション・ジャパン 副理事長。

2015年2月より内閣府電子行政オープンデータ実務者会議公開支援ワーキンググループ 主査代理。

【著書等】 『未来を創る情報通信政策：世界に学ぶ日本の針路』 (共著、NTT出版)

「ウィキペディアから出版の未来を考える」 仲俣・岡本編『ブックビジネス2.0 - ウェブ時代の新しい本の生態系』

所収 (共著、実業之日本社)